

野内与吉渡航100周年



ひと  
100年前、その日本人は  
マチュピチュと出会った。

マチュピチュ村を創った日本人

# 野内与吉資料館

5/3  
Open

## 開場時間

9:30~16:30(入館は16:00まで)

## 入館料【( )内は団体割引適用後の料金】

一般…500円(450円)

高校生・大学生…300円(250円)

小中学生 …200円(150円)

※団体料金は20名以上の利用で該当します

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳をお持ちの方は半額(手帳をご提示ください)

毎月第4日曜日は、大玉村村民の入場料無料

※入場時に住所記載の本人確認書類をご提示ください

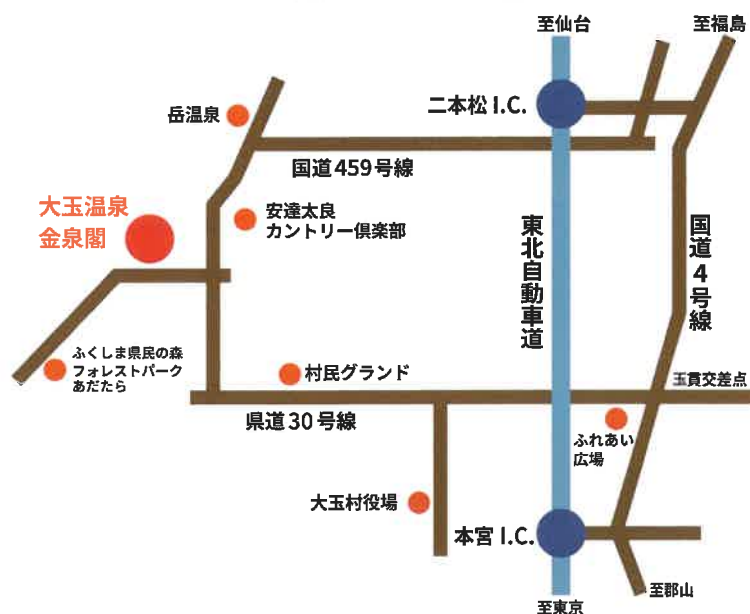
## 休館日

毎週月曜日 冬季休館あり(12月26日~2月28日)

※当館の都合により、臨時休館または休館日および開館時間の変更をする場合があります。

## 会場 大玉村温泉 金泉閣内

〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字大皿久保110-5



## 運営・お問い合わせ

一般社団法人 野内与吉資料館

TEL 0243-24-1939

E-mail nouchi.yokichi.museum@gmail.com

## 展示内容

### ■常設展

野内与吉氏の歴史や遺品展示

日本人移民の歴史

マチュピチュ遺跡をはじめとしたアンデス文明研究

天野芳太郎氏(天野博物館創設者)の歴史紹介

古代アンデス文明出土品の展示(土器など)

現代アンデス文明の民族楽器や衣装の展示

マチュピチュ村・大玉村間の友好都市締結の紹介など

### ■体験・視聴覚・物販コーナー

ペルーの民族衣装試着コーナー(無料)

ペルー雑貨や食品の販売

野内与吉氏の軌跡をたどる～VTR上映～

※内容は予告なく変更する場合がございます



### マチュピチュ村創設者 野内与吉氏 について

福島県大玉村出身。1917年1月23日、ペルーへ渡り移民となる。

1923年よりペルー国鉄で勤務し、マチュピチュまでの鉄道建設に携わったのをきっかけに現地に定住するようになる。以後、マチュピチュ初の大型木造建築である『ホテル・ノウチ』を基点にして、地域発展に心血を注いだ。ホテルの一部施設を村の行政機関向けに開放したことや水力発電所建設をはじめとしたインフラ整備等の功績を重ねて、地域住民の信頼を獲得。1939年に地区行政最高責任者、村制施行後の1948年から1950年まで村長を務めあげた。

1969年に現地で生涯を終えて48年後。

2017年は、野内与吉氏のペルー渡航から100年目にあたる、節目の年である。

### 館長紹介

### 野内与吉氏の孫 野内セサル良郎氏

1975年、ペルー共和国クスコ市にて日系三世として生を受ける。

16歳の時に家庭の事情で来日し就労するも、学問への熱い思いを胸に秘めており、数年後には定時制高校に入学、次いで大学へと進学し、苦学の末に卒業を果たした。2004年より名古屋国際センター主催の地球市民教室講師を務め、ペルー文化の紹介に取り組むなかで、野内与吉氏とマチュピチュの関係についても多くの人々に紹介した。数回にわたる講演活動や南山大学大学院での野内与吉研究を経て、2014年に『日本マチュピチュ協会』を設立。後に会長に就任し、日系移民である与吉氏と今やペルーの象徴のひとつとなったマチュピチュを通して、日本・ペルー間の親善活動に精力をもって取り組んでいる。

